

# 掛時計 | クオーツクロック

## 取扱説明書

この度はセイコークロック商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、お願い申し上げます。  
なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号(品番)をご確認のうえ、下記お客様相談室にお問い合わせください。

(例：NA○○○、RX○○○、AC○○○など)

お客様相談室 0120-315-474

www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 ANA-008P

## 保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能ですが、修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

## 必ずお守りください 安全上のご注意



### 警告

死亡または重傷を負う恐れのある内容

#### <アルカリ電池について>

- (1) 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

#### <梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。



### 注意

けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

#### <掛け方について>

時計は確実に掛けてください。

時計の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。

掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき	付属の木ねじは使用せず、市販の掛け具をご使用ください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。上記の<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

#### <時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

#### <電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- (1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

#### <分解や改造をしない>

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

#### <時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

## 必ずお読みになってからご使用ください

### 使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。  
時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が40℃以上になる所や直射日光の当たる所。  
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が0℃以下になる所。  
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。  
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。  
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿度が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。  
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。  
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。  
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

## 製品仕様

改良のため予告なく変更する場合があります

精度： 平均月差±20秒（気温5℃～35℃で使用した場合）  
使用温度範囲： 0℃～+40℃  
使用電池： 単3形乾電池 3個  
電池寿命： 約1年

（単3アルカリ乾電池（LR6）3個）  
（報時の仕方：夜間鳴り止め）  
（音量：中（MID））  
} で使用時

報時： 毎正時/夜間鳴り止め(午後11:00～午前5:00)/OFFの切り替え式  
音量調節： 大/中/小の切り替え式

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

## 付属品

ご使用前に確認してください。

- 取扱説明書（本書）1枚
- 木ねじ（厚い木の壁・木の柱専用）1本
- モニター用電池（単3形乾電池 3個）
- マット 4枚
- 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚
- 保証書 1枚

※ 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

## お手入れについて

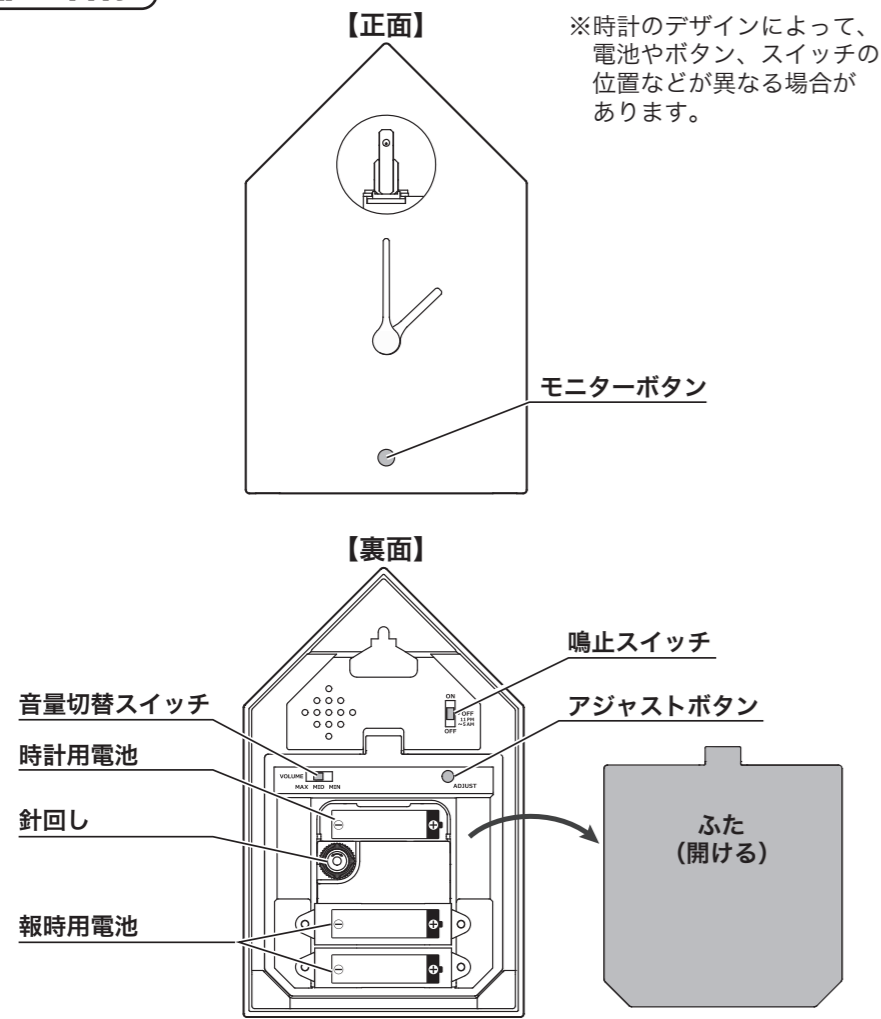
### プラスチック枠の時計の場合

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ぶきしてください。

### 木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- ※ お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

## 各部の名称



## ご使用方法

### ① 鳴止スイッチがOFFの位置にあることを確認する



### ② 時計の針を現在時刻に合わせる

本体裏面のふたを開けて、針回しを指先で回して現在時刻に合わせてください。針が時計回りに回転するように回してください。

注意

- ・時計の針や人形に触れないでください。
- ・この製品は時計の針が外に出ておりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- ・針を直接手で回さないでください。故障の原因となります。



### ③ 電池を入れる (単3形乾電池 3個)

○側から電池を入れてください。

注意

- ・電池の⊕ ⊖の向きを間違えないように注意してください。
- ・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

### ④ 報時回数を合わせる

以下の表に従って、アジャストボタンを押して報時回数を合わせてください。

現在時刻	押す回数	現在時刻	押す回数
午前5時〇〇分	0	午後5時〇〇分	12
午前6時〇〇分	1	午後6時〇〇分	13
午前7時〇〇分	2	午後7時〇〇分	14
午前8時〇〇分	3	午後8時〇〇分	15
午前9時〇〇分	4	午後9時〇〇分	16
午前10時〇〇分	5	午後10時〇〇分	17
午前11時〇〇分	6	午後11時〇〇分	18
午後12時〇〇分	7	午前12時〇〇分	19
午後1時〇〇分	8	午前1時〇〇分	20
午後2時〇〇分	9	午前2時〇〇分	21
午後3時〇〇分	10	午前3時〇〇分	22
午後4時〇〇分	11	午前4時〇〇分	23

重要

夜間鳴り止め機能を使用するために、午前と午後を認識させる必要があります。

### ⑤ 音量を調整する

音量切替スイッチ (MAX/MID/MIN) を選択してください。スイッチを左にすると音量が大きくなり、右にすると音量が小さくなります。音量を確認したいときは、モニターボタンを押すと、報時が3回鳴ります。

### ⑥ ふたを閉める

### ⑦ 報時が鳴る／鳴らないを切り替える

鳴止スイッチを選択してください。

ON	正時 (毎時00分) に報時動作を行います。
OFF (11PM~5AM)	夜間 (午後11時~午前5時) の間、報時を停止します。
OFF	正時になっても報時動作を行いません。

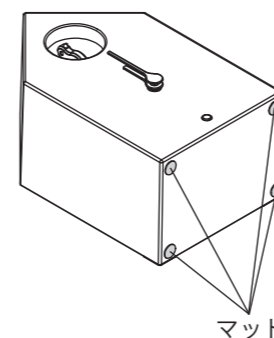
スイッチをONにした場合、次の正時 (00分) に報時回数が合っているかどうか確認してください。

### ⑧ 本製品を設置する

本製品を使用したい場所に設置してください。

参照

- ・掛時計として使用したい場合は、付属の『製品のお取り扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく掛けてください。
- ・置時計として使用したい場合は、右図のように付属品のマット (4枚) を時計底面に貼ってください。



## 故障かな?と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。

なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

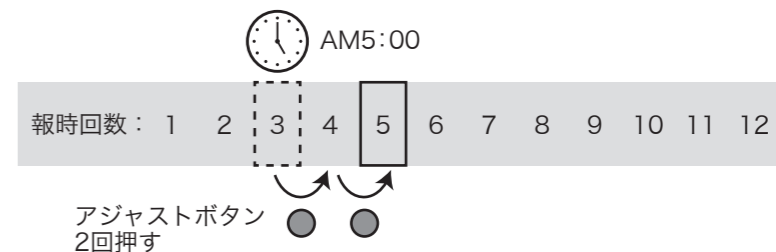
症状	考えられる原因	処置方法
針が動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電池が入っていない。</li> <li>・電池が正しい向きに入っていない。</li> <li>・電池の容量が少なくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。</li> </ul>
報時しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている。</li> <li>・電池の容量が少なくなっている。</li> <li>・鳴止スイッチがOFFになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。また、電池を入れた後、電池を2~3回転させてください。</li> <li>・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。</li> <li>・鳴止スイッチをONまたはOFF (11PM~5AM) に合わせてください。</li> </ul>
時刻と報時が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻と報時の設定が一致していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度すべての乾電池を抜いて、しばらく置いた後、「ご使用方法」に従って再度時刻と報時の設定をしていただくか、アジャストボタンで調整してください。</li> </ul>
人形が出たままになっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターなどの報時の間に、鳴止スイッチがOFFまたはOFF (11PM~5AM) の状態で正時になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターボタンを押してください。押した後、報時が3回鳴った後、人形が元の位置に戻ります。</li> </ul>

### アジャストボタンで報時を調整する

(1) 時刻と報時を確認する

(2) アジャストボタンを押して、時刻と報時回数を合わせます。

(例1) 午前5時に報時が3回鳴っている場合、報時を5回に設定するため、アジャストボタンを2回押してください。



(例2) 午後1時に報時が9回鳴っている場合、報時を1回に設定するため、アジャストボタンを4回押してください。

